

# 第1回 NPO法人会計講座

令和元年6月

みなさん。こんにちは！

宮崎県 生活・協働・男女参画課の協働推進担当です。

突然ですが！！

NPO法人の関係者で、「会計が得意」って方はあまりいないんじゃないでしょうか？

公益活動をする上で避けることができない面倒なもの。わずらわしい！！めんどくさい！！って感じていらっしゃる方が大半だと思います。

そう感じる理由の一つに、「会計の仕組みや意義」が分からないということがあるんじゃないでしょうか？

ということで、少しでも皆様の助けになればと、今回から、分かりやすくをモットーにNPO法人会計について御説明いたします。

会計が分かると、何のためにどのように貸借対照表や活動計算書を作成しなければならないのか理解し、NPO法人の運営力がアップするのはもちろんのこと、

頭の中に新たなアンテナが建って、経済ニュースのキャッチの仕方が変わります。

これからの法人の活動を展開する上で、強力なツールになることは間違いありません。

さらには、当講座が皆さんの会計についての興味につながり、自己啓発のために日商簿記3級あたりを受検してみることや、経済活動を行う方々との「協働」にも繋がることも期待しています！

では、気楽な気持ちで、お読み下さい！！

〈当講座の方針〉

- ① 一回あたり、10分程度の内容
- ② まずは、企業会計を理解していただいて、NPO会計の理解につなげる。  
(ひととおり、企業会計をもとにした会計の説明をいたします。)
- ③ 不定期連載（申し訳ありません・・・）



では、今回は「貸借対照表」と「損益計算書」の概要について、簡単に御説明いたします。

ここまで、読んでいただいた時点で、5分は経過しているでしょうから、今回は短めの内容で説明します。

そんえきけいさんしよ  
◎**損益計算書**（NPO会計でいうところの活動計算書とほぼ同内容）とは・・・？

簡単にいうと、小学校や中学校の頃、（私は）もらうのが嫌だった「**通知表**」です！

中には楽しみでたまらなかった方もいらっしゃる？？かな・・・

損益計算書では、過年度一年間を通じた「経営成績」を見ることができます。

ちなみに英語では『**Profit & Loss Statement (P/L)**』といいます。

損益計算書(H30.4.1~H31.3.31)

|   |       |   |        |
|---|-------|---|--------|
| 1 | 売上高   |   | 1,000円 |
| 2 | 売上原価  | ▲ | 400円   |
|   | 売上総利益 |   | 600円   |
| 3 | 販管費   | ▲ | 800円   |
|   | 当期純損失 | ▲ | 200円   |

赤字だった（成績が悪かった！！）

たいしやくたいしよひよう  
◎**貸借対照表**とは・・・？

簡単にいうと「**健康診断表**」です！

決算日時点（ほとんどの法人が3月31日時点）の財政状態を見ることができます。

（人間でたとえると3月31日時点での健康状態）

貸借対照表(H31.3.31)

(借方) (貸方)

|     |     |
|-----|-----|
| 資 産 | 負 債 |
|     | 純資産 |

←純資産があれば  
ひとまず安心

貸借対照表の面白いところは、右側（貸方）の合計が、左側（借方）の合計と**必ず一致**します！！

これが貸借「対照」表とよばれるゆえんです。

英語では『Balance Sheet (B/S)』といいます。なぜバランスシートというか・・・それは左右のバランスが取れているからです！！

なぜ左右一致するかの仕組みはまたの機会にお教えします！！

ちなみに・・・ ↓ニュースでよく聞きませんか？  
負債の方が多くなってしまうと**債務超過**となります。

貸借対照表(H31.3.31)

| (借方) | (貸方) |
|------|------|
| 資 産  | 負 債  |
|      | ▲純資産 |

←図ではマイナスの純資産となる (分かりにくいですね)  
読み飛ばして大丈夫

疲れましたね・・・

次は、貸借対照表と損益計算書の連動について、もう少し掘り下げて説明をします。

【今日の簡単なまとめ】

貸借対照表 (B/S)・・・健康診断表

損益計算書 (P/L)・・・通知表                      のようなものとだけ覚えて下さい。

(一口メモ)

貸借対照表の右は「貸」、左は「借」の漢字を使うのはなんでですか???

私が昔、学んだ先生によると、この漢字を使っていることに意味はないそうです。

理屈抜きに、左はか「り」かた (←りが左にはねているから左)  
右はか「し」かた (←しが右にはねているから右)

と覚えていただければOKです。